

「負けず嫌い」が 成長につながる

三遠ネオフェニックス

尾崎 かずき
細川 一輝 (25歳)

背番号 29 / ポジション SG (シューティングガード)

岩手県出身



写真提供:三遠ネオフェニックス

今月号は、東三河地域と遠州地域で活動するプロバスケットボールチーム、三遠ネオフェニックスの細川一輝選手にインタビューしました。

—バスケットボールを始めたのは何歳ごろですか。また、いつ頃からプロ選手になりたいと考えていましたか。

小学3、4年生くらいの頃、両親と兄がバスケットボールをやっていた影響で始めました。その頃からずっと、夢はバスケットボールの選手でした。プロになることを現実に考え始めたのは、大学3年生のときに関東の大学のリーグ戦2部で得点王になったことがきっかけです。

—子供の頃からの夢を叶えた細川選手。夢を叶えるために大切なことは何だと考えていますか。

「負けず嫌い」であることが大切だと思います。僕も、子供の頃は試合で負けると泣いてしまうくらい、悔しく思いました。負けたくないという気持ちで、次に勝つための成長につながると思います。

—バスケットボールの魅力とは？

ほかのスポーツに比べて点数がたくさん入り、ゲームにスピード感があることです。離れた場所からリングを狙うスリーポイントシュートが入ると会場は盛り上がり、外国籍選手などによるダンクシュートの派手さも魅力があります。

—細川選手はスリーポイントシュートを得意としています。どのようにして技を磨いたのでしょうか。

大学時代は、シュートを打つ位置を5カ所決めて足元に印をつけ、そこから繰り返し打つという練習に、地道に取り組みました。身長が187センチと、バスケットボール選手としてはそれほど高くない僕がチームの勝利に貢献できるとしたらスリーポイントシュートかな、と考えて練習に励みました。

—プロになってからは、動きながら打つ練習に力を入れています。

—試合を見に来た人に注目してもらいたいところは？

ぜひスピードを体感してほしいです。また、選手がぶつかり合うこともあるので、そうした迫力は、ゲームのルールに詳しくない人でも楽しめるのではないのでしょうか。

—浜松での開幕戦の意気込みと、今シーズンの目標を教えてください。

今年から若い選手が増え、向上心とエネルギーにあふれた良い雰囲気での練習を進めることができています。浜松アリーナの試合では、いつもたくさんの方が会場に駆け付けてくれ、熱い声援をもらえるので、とても力になります。目標は、前シーズンに果たせなかったチャンピオンシップ出場、そしてリーグ優勝です。ぜひ応援をよろしく願います！

細川選手の横顔に迫る!?

—好きな食べ物は？
焼肉(特にタン)
寿司

—強い体をつくるために気をつけていることは？

栄養バランス
休息をとる
トレーニングの後にプロテインを飲む

—試合前のルーティン(必ずやること)は？

みたらし団子を食べる

「浜松市DAY」試合観戦ご招待

三遠ネオフェニックス VS 群馬クレインサンダーズ

開催日時: 10月21日(土)・22日(日) 各日15:05~

場所: 浜松アリーナ(東区和田町)

申込: 9月15日(金)12:00~ / 定員: 自由席 各日先着500人



お申し込みはこちら



- B.LEAGUEの会員登録が必要
- 1回の申し込みで最大5人まで可能

問合: 株式会社フェニックス チケット係(☎0532-35-7528)